

第 31 回「県と市町村との協議の場」 次 第

日 時 令和 8 年 6 月 2 日（火）
15 時 15 分から 17 時 15 分まで
場 所 県庁本館 3 階 特別会議室

1 開 会

2 挨 拶

3 議 事

「意見交換」 人口減少下における持続可能な公立文化施設のあり方の検討

4 閉 会

第31回「県と市町村との協議の場」出席者名簿

令和8年6月2日

長野県

知事

副知事

副知事

企画振興部長

県民文化部長

阿部 守一

関 昇一郎

新田 恭士

中村 徹

小池 広益

長野県市長会

副会長

理事

理事

理事

小泉 俊博

柳田 清二

今井 敦

小川 修一

小諸市長

佐久市長

茅野市長

千曲市長

※

長野県町村会

会長

副会長

副会長

理事

理事

理事

羽田 健一郎

藤澤 泰彦

山村 弘

下平 喜隆

中村 義明

日躰 正博

小県郡長和町長

東筑摩郡生坂村長

埴科郡坂城町長

下伊那郡豊丘村長

北安曇郡小谷村長

下高井郡木島平村長

※・・・オンライン出席

人口減少下における持続可能な 公立文化施設のあり方の検討について

長野県 県民文化部 文化振興課

1 概要

- 人口減少の進行に伴い、県内の公立文化施設においては、施設の老朽化や、専門職員の不足、事業の企画力の低下など様々な課題が顕在化
- 文化芸術分野に係る行政サービスの質を高めつつ、持続可能な形で提供していくことが必要

2 主な課題

■ 施設の老朽化等

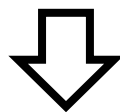
文化ホール・博物館等の文化施設は老朽化した施設が多く、また、博物館は収蔵スペースが狭隘化

■ 人的資源の不足

文化ホールの舞台スタッフや、博物館の学芸員、イベント等の運営・企画を担う人材などの専門人材が不足

■ 「公（おおやけ）」の視点の重要性

行政・公立文化施設のみならず、民間（施設・団体）、個人（住民、アーティスト）、企業等も巻き込み、地域全体で考え、行動することが求められている



■ 単独の施設での対応の限界

人材・財源等のリソースに限られる中で、単独の文化施設や市町村域内だけでは、課題解決が困難

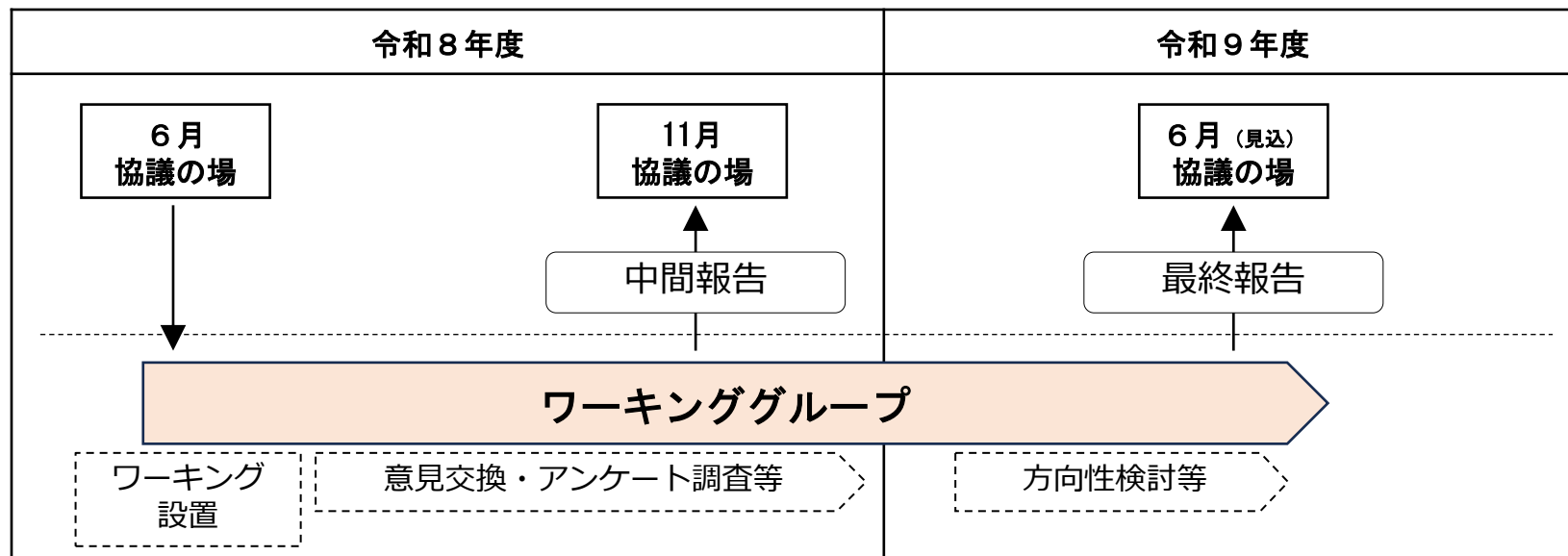
3 今後の対応

- 「県と市町村との協議の場」等で意見を聴取しながら、公立文化施設の連携のあり方や文化芸術施策の方向性について検討を進める。
- 県として、次期「長野県文化芸術振興計画」（R10～14）や関連施策に反映

4 今後のスケジュール（案）

	R 8	R 9	R10
文化芸術振興計画	2次計画（R 5～9）		3次計画（R10～14）
有識者懇談会	次期計画策定		
県・市町村協議の場			
県・事業団意見交換			
調査等			

≪人口減少下における持続可能な公立文化施設のあり方の検討≫ 県と市町村との協議の場・ワーキンググループについて（案）



○ワーキンググループの概要

【構成（案）】

- ・ 県（文化振興課、市町村課）
- ・ 市町村（市長会、町村会の総務文教部会の市町村）（案）
- ・ 県文化振興事業団

【進め方（案）】

＜R8＞

- （第1回）専門家による講演等
- （第2回）課題整理
- （第3回）中間報告（案）検討

＜R9＞

- （第4回）最終報告（案）検討

この場で意見交換をさせていただきたい事項について

- ◆ 公立文化施設にどのような課題があるか
- ◆ 公立文化施設の課題を解決するために、「県との連携」、「市町村間の連携」、「個別の市町村」で何をすべきか（何をしたいか）

公立文化施設の主な課題（P.3再掲）

- 施設の老朽化等
文化ホール・博物館等の文化施設は老朽化した施設が多く、また、博物館は収蔵スペースが狭隘化
- 人的資源の不足
文化ホールの舞台スタッフや、博物館の学芸員、イベント等の運営・企画を担う人材などの専門人材が不足
- 「公（おおやけ）」の視点の重要性
行政・公立文化施設のみならず、民間（施設・団体）、個人（住民、アーティスト）、企業等も巻き込み、地域全体で考え、行動することが求められている

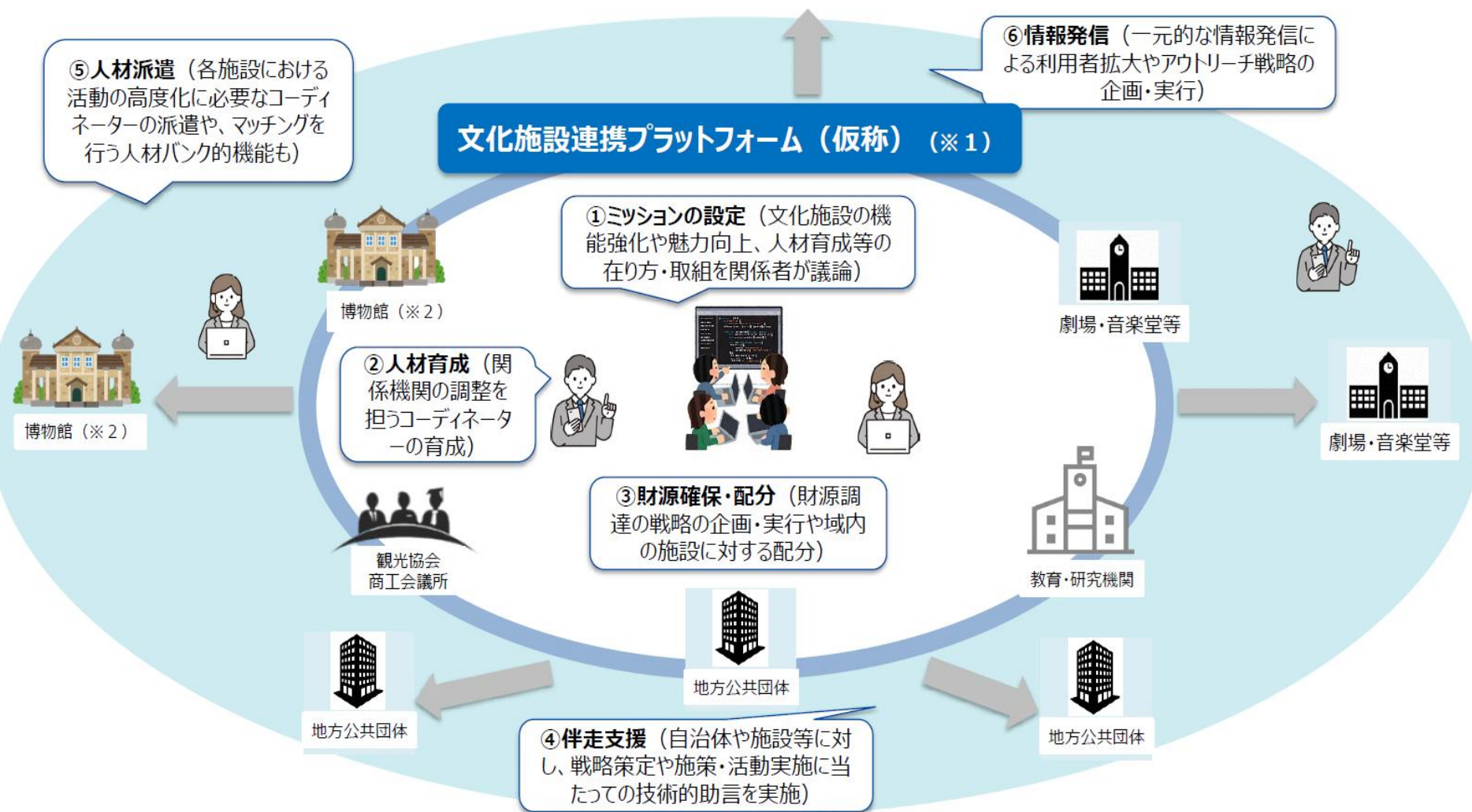
どのような課題に

- 施設の老朽化等
- 人的資源の不足
- 「公の視点」の重要性
- その他

例：地域振興・観光・福祉との連携、
伝統芸能の担い手確保など

どう対応するか

- 県・県立施設との連携
- 市町村間・市町村立施設間の連携
- 個別の市町村・施設の取組



（※１）基本的には広域～都道府県～指定都市単位での形成をイメージ。

国としての促進策についても、今後議論を深める。

（※２）博物館には、美術館、科学館、動物園、水族館等が含まれる。